

日本造園連県支部設立総会

初代支部長に瀧氏選出

日本造園組合連合会県支部設立総会が1月28日、奄美市の奄美サンプラザホテルであり、初代支部長に瀧源廣氏(株)瀧緑地建設)を選出した。また奄美大島造園組合(瀧源廣代表理事)の第8回通常総会も並行してあり、新年度の事業計画や収支予算等を決めた。

同日は、会員のほか、同連合会の岩間陽総務課長をはじめ、沖繩、熊本、大分支部から各1人の計14人が参加し、各議案について審議。

議事では向井勝宏氏(有勝緑園)を議長に、



瀧源廣支部長



支部昇格を認められ、さらなる結束を誓った総会＝奄美市の奄美サンプラザホテルで

22年度事業報告および収支決算、23年度事業計画および収支予算等について審議し、全会一致で承認した。

新年度事業計画には、①技術技能の資質向上のための講習会開催②現場

における安全施工に関する研究会開催③業務に関する官公庁などへの陳情活動などを盛り込んだ。

同連合会県支部昇格報告に続いて、県支部役員選出があり、瀧氏を初代支部長に選出した。同団

体は平成15年に本部から連絡事務局として委嘱、これまでの活動実績や支部会員の増強、今後の活動期待が認められ支部昇格となった。

引き続き行われた祝賀

会で、瀧支部長は「今は技能が問われる時代。資質向上と後継者育成が最

重要課題と考えており、技能士の団体として発注者側にも強くアピールし理解を求めていく。まずは会員10社でのスタートとなるが、今後は会員の増強に努めたい」と挨拶した。乾杯のあと祝宴に入り、会員らはお互いに杯を交わし今後の健闘を

誓い合った。

新役員は次の通り。  
支部長＝瀧源廣▽副支部長＝坂上多賀雄(有坂上庭園) 沢津橋鉄盛(株) 沢津橋造園)▽理事＝島納建悟(有島納開発) 濱崎輝実(有遠園) 向井勝宏▽監事＝林友義(林緑化) 前田芳之(芳華園)

県建築協会北薩支部新年会

今年1年の飛躍祈念



建築業界の発展へ一致団結し、結束を誓い乾杯する会員＝薩摩川内市の川内ホテルで

県建築協会北薩支部(野元善文支部長)は1月27日、薩摩川内市の川内ホテルで新年会を開いた。会員や来賓が出席し、

建築業界の発展へ一致団結し、難局を打開していくことを誓い合った。

重留静副支部長は冒頭、「昨年さまざまな活動を進めてきたが、会員の協力あつてこそ。新年もみんなで連携しながら、取り組みを進めていきたい」と挨拶。このほか、来賓を代表し、全日本旅行センターの玉井隆広所長代理が祝辞を寄せた。

井島祐一郎監事の乾杯の発声で開宴。出席者は今年の展望や管内の現状などを語り合いながら杯を酌み交わし、今年1年の飛躍を祈念した。

建築業界の発展へ一致団結し、結束を誓い乾杯する会員＝薩摩川内市の川内ホテルで

出水電気工協組新年会

より一層の結束を

出水電気工事工業協同組合(岩崎孝和理事長)

は1月24日、出水市の鶴丸会館で新年会を開いた。会員や関係者が多数出席。より一層結束し、積極的な取り組みを進めていくことを誓い合った。

岩崎理事長は冒頭、「昨年発生した東日本大震災以降、復興に向けて多くの人が前を向いて頑張っている。われわれも新たな一歩を踏み出さねばならない。より一層結束し、積極的に取り組みを進めていく」と挨拶。来賓を代表し、川上英明九州電力(株)出水営業所長が祝辞を寄せた。



飛躍を誓い乾杯する出席者＝出水市の鶴丸会館で

新規入会の立尾電設(株)出水支店(古里健一所长)の紹介後、乾杯し開宴。互いに杯を酌み交わしながら、今後の展望などについて語り合った。

なお、同日は箱崎八幡神社で安全祈願祭を実施。岩崎理事長らが玉ぐしを捧げ、企業繁栄と無事故無災害を祈念した。

から、今後の展望などについて語り合った。

なお、同日は箱崎八幡神社で安全祈願祭を実施。岩崎理事長らが玉ぐしを捧げ、企業繁栄と無事故無災害を祈念した。

新年ゴルフコンペ  
山下さんが優勝

同日は、新年会に先立ち、薩摩川内市のグリー

お手軽で便利な  
購読料のお支払いは  
自動振替で

鹿児島建設新聞  
099-227-5100へ



地域貢献活動

缶やペットボトルのほか、炊飯器などの家電製品や発砲スチロール、木材などが散乱。参加者はパーキングエリアから法面部に降りると、不法投棄物を一つひとつ丁寧に拾い集めた。

同支部では今回の活動を踏まえ、不法投棄撲滅へ看板を設置し、県民などへの啓発活動を進めていく方針。

平山支部長は「これまでも活動を進めてきてはいるものの、未だ不法投棄は後を絶たない状況にある。工夫を凝らしながら、あらゆる対策を講じ、不法投棄絶滅へ取り組みを強化していきたい」と語った。

～ 吉永建設社員会 ～

県道沿いきれいに

吉永建設(株)(吉永健二社長、鹿屋市)の社員で構成する吉永建設社員会は1月21日、県道下高隈川東線でふるさとの道サポート推進事業の一環として今年初めてのボランティア活動を実施した＝写真＝。

今回は社員5人が参加して、高隈串良線との三差路から市街地方向に約3kmの範囲で、道路脇に投げ捨てられたタバコの吸い殻や空き缶、ペットボトル、ビニール袋などを拾い集めた。



吉永社長は「今後も定期的に実施し、地域の景観向上に貢献していきたい」と抱負を述べた。

～ 鹿 越 ～

側溝土砂を撤去

(株)鹿越(上江川浩行社長、薩摩川内市)は1月21日、同市のゴールド集落・川底上自治会付近を走る市道で、側溝の土砂撤去活動を行った＝写真＝。社員6人が参加

し、地域の環境美化に貢献した。

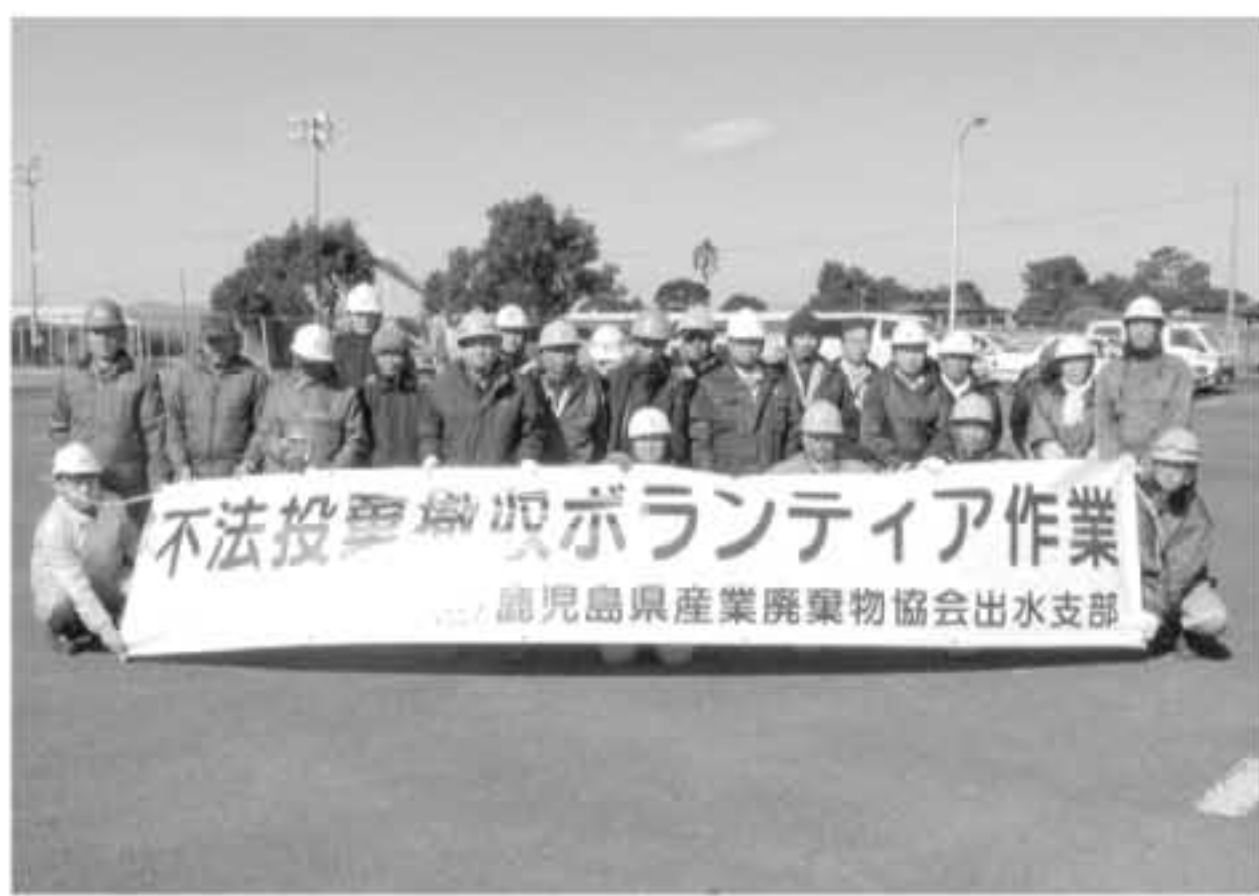
社員らはスコップを手し、堆積した側溝をきれいに除去。作業終了後、一帯は見違えるほどきれいになった。



作業の様子を見守った同自治会の寺川一徳会長は「高齢者が多く、なかなか手がつけられなかったが、皆さんの協力で助かった。本当にありがたい」と感謝。これを受け、吉満貢営業部長は「少しでも役に立ててうれしい。今後も地域に根付いた取り組みを進めていきたい」と語った。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。  
E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp



～ 県産業廃棄物協会出水支部 ～  
大量のごみ収集

県産業廃棄物協会出水支部(平山政彦支部長)は1月26日、出水市境町の国道3号沿いで不法投棄撤収ボランティア作業を実施した＝写真＝。会員企業30社から32人が参加。ポイ捨てされた大量のごみを収集するなど、地域の環境美化に貢献した。

今回の取り組みは、昨年11月に実施した不法投棄防止パトロールの結果を踏まえ行ったもの。最もごみが多かった同市境町のホテルカーニバル付近、国道3号パーキングエリアの法面部で作業を実施した。

同日、参加者は出水市海洋公園に集合。出発式では、作業内容等の確認を行い、現地に出発した。現地には、ポイ捨てされた空き